

2024年2月度定例自然観察会報告書

2024年2月11日

3班 中島 正一

実施日 2024年2月10日(土)

1. テーマ : 「春よ来い♪冬芽も春を待っている♪」
2. コース : 新三田駅~大池川沿い林道~県立有馬富士公園(自然学習センター)
3. 集合 : 午前10時 JR新三田駅改札口
4. 解散 : JR新三田駅 15時頃(有馬富士公園内解散は、14時40分頃)
5. 参加者 : ビジター37名(内子供3名)、会員28名(内3班17名) 合計65名
　　<自主研修会2月3日の参加会員数は、48名(内3班15名)>
6. 配付資料 : 観察会ルートマップ・植生リスト
7. 説明リーダー : 田中、武川、岩崎、香西、
　　アシスタント : 永井、熊谷、古賀、熊木、柏木、藤原、村上

8. 概要

当日の天候は曇り気味で集合時の気温は8℃だったが正午ごろには11℃とこの時期としては風もなく寒さを感じないでゆっくりと観察することができました。
新三田駅からのどかな田園地帯を通り、大池川沿いの緩やかな林道を歩いた後、有馬富士公園に入り、かやぶき民家付近で昼食をとりました。
昼食後は公園内で野鳥や樹木を観察して自然学習センターで終了、解散とした。館内見学は自主的に行った。主だった一部の報告をします。

まずは大池川沿いの観察路に入る手前の御旅所前の路上のマンホール蓋の説明がありました。三田市のシンボルをデザインした蓋で、花は「サツキ」花言葉は愛情と純朴で明るく住み良い街づくり、木はアカマツで言わずと知れたマツタケの産地、中央の鳥はキジで愛称を「キッピーとハッピー」とのことです。



続いて、大池川沿いに入って左斜面に何やら実のついたような葉っぱが目立ちました。

これはアラカシに住み着くカシトガリキジラミが形成する虫こぶでアラカシハクボミフシとのことでした。

そのまま青龍寺入口へすすむ足元にはオランダフウロやホトケノザ・ヒメオドリコソウが早くも花を飾っている様子を見ることができました。

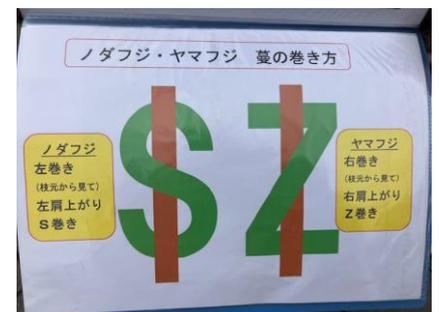
続いてフジの説明がありました。

フジの由来には定説がないが、一説には本来「フヂ」と呼称・発音され、風が吹く度に花が散るので「吹き散る」の意であるというそうです。大別すると山地によく自生する花穂が短いヤマフジと、フジの名所などで栽培されている花穂が長いノダフジがあります

ヤマフジとノダフジは、つるの巻き方で区別がつけます。ヤマフジは左巻き(時計と反対回り)、ノダフジは右巻き(時計回り)になっています。

事前に用意した資料で分かりやすく説明された。

大きな流紋岩にはこの地質を好むイブキシモツケが岩の割れ目に根をおろしていた。



4班は子供担当班として、
目と音で子供たちの関心を引くために紙芝居で使う拍子木や当日の
説明する内容を明示した資料を事前に用意して臨んでいました。



次はヤマコウバシについての説明です。

ヤマコウバシは、むかしから落葉樹だったわけではなく、はじめは
常緑樹でした。しかし詳しいことはわかっていませんが、環境の変
化によりヤマコウバシは常緑樹から落葉樹へと変化したのです。

このような背景があり、ヤマコウバシは落葉樹でありながらも常緑樹の性質を少し残しています。そのため、
春まで葉を落とさないそうです。落ちないとのことで、受験生のお守りに重宝されているそうです。

マルバアオダモのところでは枝をカップの水に浸して水が青くなる実演をしました。

和名アオダモの「アオ」の由来は、雨上がりに樹皮が緑青色になること、枝を水に浸けてしばらくすると水が青
を帯びた色になることのようにです。(当日は曇っていたが説明時は光を浴びて水が青くなるのが良く見えた)

モクセイ科トネリコ属の樹木の樹皮の多くは蛍光反応を有しており、その蛍光物質については同属のトネリコ節
(注：アオダモ、ケアオダモ、マルバアオダモ、ヤマトアオダモ、シマトネリコ、トネリコ等がある。)では、エ
スクレチン、その配糖体エスクリンを含み、一部フラキセチンとその配糖体フラキシンを含んでいて、その抽出
液は著しく蛍光を有すると報告されている

ハンノキ



近年では水田耕作放棄地に繁殖する例が多く見られる。

水田の畔に稲のはざ掛け用に植栽されている。

良質の木炭の材料となるために、以前にはさかんに伐採された。

葉の中には、放線菌からもらった窒素を多く含んでいて、そのまま葉が散る
ため、葉の肥料木としても重要である。

この地の周辺にもハンノキ林が広がりつつある。



福島大池への途中ではヒメカンアオイの花が観察できた。

地味な花で、上からは見つからないようにひっそりと咲いていました。

予定より少し遅れで福島大池を見おろす「かやぶき民家」に到着し、昼食とした。

この場所は夏なら、ヤマナラシが奏でるそよ風を浴びながら昼寝をしたいものだ。

昼食後はマルバヤナギと台場クヌギを観ながら福島島大池の東から自然学習センターへと向かった。

途中、珍しいオオバナムノキもあった。

自然学習センター前に 14 : 30 頃に到着し、解散としました。

9. 参加者の感想 (新入会員の方たちが集めてくださりました)

- ・初参加・男性：冬芽の尊さ・愛おしさがわかった。冬でも楽しめることが分かった。
- ・リピーター・女性：知らなかった山の名前や岩などを知れて、良かった。
- ・リピーター・女性：車で初めてこの辺りを訪れると東西南北がわからなくなっていた。説明者のお話で、方向

感覚がつかめた。

- ・初参加・男性：情報量が多すぎて、ついていけない自分をもどかしい…。
- ・初参加・女性：草や花など一つ一つに名前があることを改めて感じた。図鑑や本ではわからない、大きさを感
じることができた。
- ・初参加・男性：植物の見分け方・由来が聴けてよかった。知らないことだらけなので、流石に全てについて、
会話を止めては聞けないと思った。今後、勉強していきたい。
- ・初参加・男性：草花に関心がなかった。もっと学んでいきたいと思った。有馬富士に登るつもりで装備できて
いた(笑)
- ・リピーター・女性：他でも勉強しているが、新しい知識が増えて楽しかった。野鳥がいなかったのが残念。
- ・初参加・女性：とても頭に入りきらない…。でも、楽しかった。
- ・初参加・女性：樹木の名前が、右から左に抜けていく…。
- ・初参加・男性：案内の方の知識量にびっくり！ 何にもないように思える冬の公園でもこんなに楽しめること
がわかった
- ・サクラバハノキとハノキの見分けがついた。
- ・冬の植物観察のひとつに冬芽を見ることを知りました。
- ・冬芽で木の名前がわかるってすごい。
- ・初めての参加で木の名前を3つ覚えしました。
- ・ヒメカンアオイの花が見られてよかった
- ・初めての参加、丁寧に説明してもらいました
- ・一人だと来なかったと思う
- ・木を見て、これが何かわかりますか？と聞かれ、リーダーがすぐに答えを言わず、考える時間をくれたのが良
かった。頭の体操になった。
- ・専門的な事はわからないが、樹形の美しさを見て、感動しました。
- ・一人で歩いても、見分けるポイントが解らないので、教えてもらえて良かった。
- ・野鳥をたくさん見られてよかった。
- ・冬の自然を見るのがなかったので、今日教えていただいて、楽しませていただきました。
- ・見てもなかなか解らないので、何回も来たいと思います。
- ・冬芽を見てもよく解らない、花の季節に来たいと思います。
- ・冬に木を見て、初めてときめきました。

会員（一部）の感想

- ・今日のはのびりと楽しい一日に感謝。
- ・放線菌の根粒をはじめて観た。
- ・ヒメカンアオイの写真を撮り、拡大してみると雄しべと雌しべが夫々12個と6個が確認できた。
- ・このコースは楽ちんなのでマイコースにして四季ごとに来てみたい。
- ・新たな発見がいくつも見られた。

4班（ファミリー）の担当スタッフの声

- ・小学生1名、幼稚園児2名がいる観察会ということで、当初心配されたが、驚くほど自然に関心があり、図鑑・
虫眼鏡・双眼鏡を持参して参加されました。
スタッフもグリーンサポーターの経験を活かして対応したところ、大人顔負けの反応を見せてくれました。
- ・子どもたちの自然観察への意欲には、驚かせられました。

やはり、お母さんの自然に対する向かい方が大きく影響すると思いました。

終日、リーダーより先には行かないという決まりを守って活動したが、お昼からは子どもたちは疲れ気味で一日の活動はしんどいかなと思いました。

10. 観察できたもの：(植生リストより)

御旅所付近 三田市マンホールの蓋の模様

御旅所～青龍寺

アラカシ・アベマキ・ヒメコウゾ

青龍寺～流紋岩 露頭

オランダフウロ花・モッコク果実・ソヨゴ・ヤブツバキ花・タカノツメ・ヒイラギ・ヤマコウバシ・フジ・ヌルデ

流紋岩 露頭～八幡宮

イブキシモツケ・ガマズミ・キッコウハグマ 花ガラ・ヒメカンアオイ・ヤブコウジ果実・ツクバネウツギ・タカノツメ・ヤブコウジ果実・ウワミズザクラ・ヒサカキ果実・ヤマコウバシ・コバノガマズミカマツカ果実・ウメモドキ果実・ハンノキ雄花・ヤマハゼ・ヌルデ果実・タンナサワフタギ

八幡宮～有馬富士公園入口

ウワミズザクラ・マンサク花・キツタ果実・タカノツメ・ヤマコウバシ・リョウブ果実・ヒメカンアオイ・ヤブムラサキ果実・ヤマボウシ・アセビ蕾・モチツツジ・アオハダ・クロモジ・リョウブ果実・ハンノキ 放線菌の根粒・ハンノキ林・ヤマボウシ

有馬富士公園入口～福島大池

ウリカエデ・シャシャンボ・ソヨゴ果実・ネジキ・アセビ蕾・ハンノキ林

かやぶき民家前

ヤマナラシ・シデコブシ

ウド栽培小屋～花こう岩 石柱～自然学習センター

マルバヤナギ (アカメヤナギ)・台場クヌギ (植栽)・ヤマボウシ・オオバネムノキ・ナツハゼ・ネジキ
アカメヤナギ・ハンノキ・マルバアオダモ・トチノキ・ホオノキ・ミツマタ・ヤマボウシ林 (植栽)

以上